



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

平成 29 年 9 月 1 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2017 年第 34 週
(8/21~8/27)

- RSウイルス感染症は、前週よりさらに増加し、患者報告数は例年の11~12月の水準に達しています。
- 手足口病は、第31週をピークに減少傾向ですが、引き続き県全体で警報レベルの流行となっており、特に岐阜・恵那保健所管内で多くの患者が報告されています。
- 流行性耳下腺炎は、昨年から県内の流行が続いており、現在も継続して患者が報告されています。
- 流行性角結膜炎が、過去5年の平均と比べて多くなっています。

■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

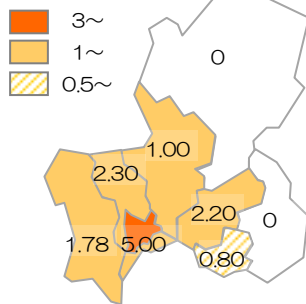
● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	手足口病	定点当たり5人以上 (2人を下回るまで継続)	岐阜市(3.11)、岐阜(8.20)、西濃(4.00)、 可茂(4.80)、東濃(6.20)、恵那(8.75)
注意報レベル	なし		—

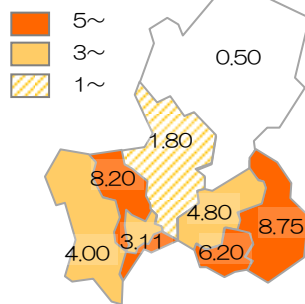
※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

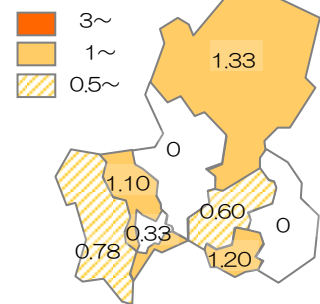
<RSウイルス感染症>



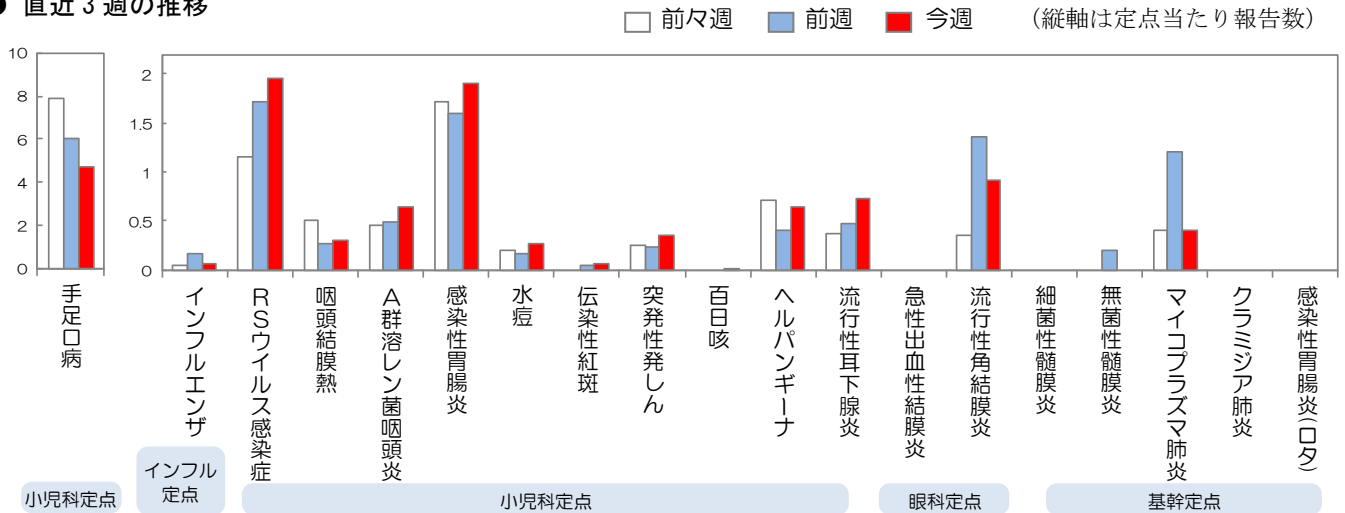
<手足口病>



<流行性耳下腺炎>



● 直近3週の推移



■ 全数把握対象疾患の発生動向

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 8 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 11 例*
*うち保育所関連 7 例
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：梅毒 1 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

※今週のトピックスはありません。

岐阜県感染症情報センターHP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>